

高校出張講義実施概要

氏 名	亀田 貴雄
学科／コース（主担当）	地球環境工学科 環境防災工学コース
職名	教授
授 業 題 目	南極での雪氷研究 － 知られざるマイナス 7 0℃の雪と氷の世界 －
授 業 内 容	授業担当者は第 36 次および 44 次南極地域観測隊員として、1995 年および 2003 年に南極氷床の内陸部に位置するドームふじ基地（南緯 77 度 19 分 01 秒，東経 39 度 42 分 12 秒）で越冬観測を実施した。これらの観測では冬季最低気温が-79℃のドームふじ基地で雪と氷の研究観測の実施に加えて、南極氷床内部の氷（氷コア試料）を掘削する作業に従事した。得られた 3030m 深の氷コア試料の分析により、過去 72 万年間の地球の気候変動が推定されてきている。今回の授業では、1）我々がドームふじ基地で実施した雪氷、気象、宙空（オーロラ）関連の科学観測の概要および過去 34 万年間の地球の気候環境変動の特徴をわかりやすく説明します。2）ドームふじ基地は標高 3,810m に位置し、世界で最も生活環境が厳しい場所にあるので、そこでの越冬隊員の暮らしについて説明します。
簡単な実験 を行う場合 はその内容	
授業に使用する機材 （高校が用意するもの 等）	プロジェクタ，スクリーンを用意してください。PC と指示棒(LED)は持参します。
参加型学習またはデモ ンストレーションの有 無	無
備 考	担当者の大学での講義や会議に関連して、実施可能な曜日を指定する場合があるので、複数日を提案していただけると良い。講義時間は 90 分必要です。授業時にはパワーポイントを印刷したものを生徒さんに配布するので、その印刷をお願いします（白黒で OK）。

※実施時期は、概ね 7 月から 11 月の期間とします。